



2024年3月期 第2四半期
決算説明資料

2023年10月31日

単位：百万円	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減	9月時点見込	増減
営業収益	189,984	196,254	+6,269 (+3.3%)	194,800	+1,454 (+0.7%)
運輸業	73,919	85,067	+11,148	84,900	+167
流通業	49,957	43,085	△6,871	43,100	△14
不動産業	38,556	33,214	△5,341	32,500	+714
その他の事業	40,197	47,050	+6,853	47,200	△149
調整額	△12,645	△12,164	+481	△12,900	+735
営業利益	14,512	26,601	+12,088 (+83.3%)	24,700	+1,901 (+7.7%)
運輸業	6,188	15,210	+9,021	15,100	+110
流通業	1,116	978	△138	1,000	△21
不動産業	9,738	8,384	△1,354	6,900	+1,484
その他の事業	△2,553	2,004	+4,558	1,700	+304
調整額	23	23	-	0	+23
経常利益	14,736	27,041	+12,305 (+83.5%)	24,500	+2,541 (+10.4%)
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,086	26,124	+16,038 (+159.0%)	25,100	+1,024 (+4.1%)
設備投資額	20,955	21,099	+143		
減価償却費	23,524	22,777	△746		
有利子負債残高	706,479※	641,295	△65,184		

※ 2022年度末

<営業外・特別損益>

単位：百万円	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減・主な要因	
営業外収益	3,532	3,828	+295	固定資産税等精算金 772 (+771)
営業外費用	3,308	3,387	+78	
特別利益	2,747	11,092	+8,344	固定資産売却益 10,083 (+8,158) 関係会社株式売却益 728 (+728) 工事負担金等受入額 129 (△363)
特別損失	1,860	1,441	△418	固定資産圧縮損 51 (△407)

<連結範囲および持分法の適用の異動状況（対前期末）>

連結子会社 34社（1社減）

（減少）（株）ホテル小田急 : 株式譲渡（2023年6月）

持分法適用会社 2社（変更なし）

<連結貸借対照表>

単位：百万円	2022年度	2023年度 第2四半期	増減・主な要因
流動資産	168,590	168,562	△28
固定資産	1,111,385	1,124,450	+13,064
資産合計	1,279,976	1,293,013	+13,036 投資有価証券 +13,976
流動負債	378,938	429,862	+50,923
固定負債	512,547	449,526	△63,020
負債合計	891,485	879,388	△12,097 預り金 +58,440 有利子負債 △65,184
純資産合計	388,490	413,624	+25,133 利益剰余金 +17,673 その他有価証券評価差額金 +7,873
負債純資産合計	1,279,976	1,293,013	+13,036

<連結キャッシュ・フロー計算書>

単位：百万円	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減・主な要因
営業キャッシュ・フロー	27,912	31,709	+3,797
投資キャッシュ・フロー	△11,855	△4,829	+7,026 (+) 有形固定資産売却収入の増加
財務キャッシュ・フロー	△11,759	△14,693	△2,934 (△) 社債の償還による支出の増加
現金及び現金同等物の増減額	4,298	12,186	+7,888
現金及び現金同等物の四半期末残高	26,150	79,736	+53,586

単位：百万円	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減・主な要因		9月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	73,919	85,067	+11,148 (+15.1%)		84,900	+167 (+0.2%)	
鉄道業	55,744	63,620	+7,875	(+)利用者数の回復 (+)当社バリアフリー料金制度適用	63,800	△179	
バス業	15,553	17,330	+1,776	(+)利用者数の回復 (+)運賃改定	16,900	+430	
その他	2,621	4,117	+1,496	(+)箱根観光需要回復	4,200	△82	
営業利益	6,188	15,210	+9,021 (+145.8%)		15,100	+110 (+0.7%)	
鉄道業	6,129	13,192	+7,063		13,000	+192	
バス業	157	977	+819		1,000	△22	
その他	△98	1,040	+1,139		1,100	△59	

設備投資額	8,448	6,858	△1,589
減価償却費	15,461	14,947	△514

<フリーパス売上枚数 (対前年)>

箱根フリーパス	+146.3%
江の島・鎌倉フリーパス	+163.4%

<小田急旅行センター利用者数>

単位：千人	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減
乗車券等の購入者	3	171	+168

<箱根エリアの営業収益> ※ 運輸業の他にホテル業も一部含まれています。

単位：百万円	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減
箱根エリア	7,732	11,738	+4,005

(参考) 箱根交通各社合計輸送人員 対前年 +36.2%

<鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

■ 輸送人員

単位：千人	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減		
			対2022年度		対2018年度
定期	197,408	205,656	+8,248	(+4.2%)	(△15.3%)
通勤定期	136,342	142,545	+6,203	(+4.5%)	(△17.2%)
通学定期	61,066	63,111	+2,045	(+3.3%)	(△10.8%)
定期外	129,700	141,926	+12,226	(+9.4%)	(△3.0%)
合計	327,108	347,582	+20,474	(+6.3%)	(△10.7%)

■ 運輸収入

単位：百万円	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減		
			対2022年度		対2018年度
定期	19,264	21,109	+1,845	(+9.6%)	(△12.9%)
通勤定期	16,109	17,867	+1,757	(+10.9%)	(△13.2%)
通学定期	3,154	3,242	+88	(+2.8%)	(△11.1%)
定期外	30,342	35,270	+4,928	(+16.2%)	(△1.1%)
旅客運輸収入計	49,606	56,380	+6,773	(+13.7%)	(△5.9%)
運輸雑収	1,519	1,461	△57	(△3.8%)	(△20.9%)
運輸収入合計	51,125	57,841	+6,716	(+13.1%)	(△6.3%)

■ 営業費

単位：百万円	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減
営業費合計	45,061	45,557	+495
人件費	13,116	12,799	△316
修繕費	2,204	2,377	+173
動力費	3,417	3,334	△83
固定資産除却費	285	244	△41
減価償却費	12,213	11,705	△507
その他	13,824	15,095	+1,271

セグメント情報 (流通業)



単位：百万円	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減・主な要因		9月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	49,957	43,085	△6,871 (△13.8%)		43,100	△14 (△0.0%)	
百貨店業	16,615	11,623	△4,992	(△)新宿店売場縮小 (2022/10/3~)	11,800	△176	
ストア・小売業	29,688	30,982	+1,294	(+)ストア売場構成・運営の改善	30,900	+82	
その他	3,652	479	△3,173	(△)前期末白鳩連結除外	400	+79	
営業利益	1,116	978	△138 (△12.4%)		1,000	△21 (△2.2%)	
百貨店業	1,050	3	△1,047		100	△96	
ストア・小売業	△0	943	+944		900	+43	
その他	66	31	△35		0	+31	
設備投資額	605	527	△78				
減価償却費	1,212	1,279	+67				

<百貨店業：営業収益内訳（実績・対前年）>

<ストア・小売業：小田急商事ストア部門取扱高（対前年）>

単位：百万円	2023年度 第2四半期	増減
新宿店	5,415	△45.6%
店頭	5,245	△46.1%
町田店	4,327	1.9%
ふじさわ	958	2.8%
その他	922	△37.6%
合計	11,623	△30.0%

全店	+6.0%
既存店	+5.6%

セグメント情報（不動産業）



単位：百万円	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減・主な要因		9月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	38,556	33,214	△5,341 (△13.9%)		32,500	+714 (+2.2%)	
不動産分譲業	16,175	11,466	△4,708	(△)計上戸数減	11,600	△133	
不動産賃貸業	22,381	21,747	△633	(△)前期末小田急第一生命ビル持分売却	20,900	+847	
営業利益	9,738	8,384	△1,354 (△13.9%)		6,900	+1,484 (+21.5%)	
不動産分譲業	1,623	762	△860		300	+462	
不動産賃貸業	8,115	7,622	△493		6,600	+1,022	(+)費用削減

設備投資額	8,531	12,898	+4,366
減価償却費	5,019	4,733	△285

<不動産分譲業：小田急不動産 計上戸数>

単位：戸・区画	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減
戸建	42	19	△23
マンション	107	57	△50
土地	22	4	△18
合計	171	80	△91

<不動産分譲業：小田急不動産 投資用不動産の売却件数>

単位：件	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減
投資用不動産	1	1	-

セグメント情報（その他の事業）



単位：百万円	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減・主な要因		9月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	40,197	47,050	+6,853 (+17.0%)		47,200	△149 (△0.3%)	
ホテル業	7,842	12,221	+4,378	(+)稼働回復	12,200	+21	
レストラン飲食業	7,180	7,274	+93		7,300	△25	
その他	25,174	27,554	+2,380	(+)リゾート人材派遣需要回復	27,700	△145	
営業利益	△2,553	2,004	+4,558 (-)		1,700	+304 (+17.9%)	
ホテル業	△3,179	871	+4,050		800	+71	
レストラン飲食業	△178	70	+249		100	△29	
その他	803	1,062	+258		800	+262	
設備投資額	3,369	813	△2,555				
減価償却費	1,863	1,845	△17				

<ホテル業：外国人宿泊者比率>

	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減
ホテルセンチュリーサザンタワー	12.9%	81.9%	+69.0P

<ホテル業：客室稼働率※1>

	2022年度 第2四半期	2023年度 第2四半期	増減
ホテルセンチュリーサザンタワー	42.6%	88.2%	+45.6P
山のホテル	52.2%	70.3%	+18.1P
箱根ハイランドホテル	47.9%	65.0%	+17.1P
はつはな※2	-	54.0%	-

※1 「ハイアットリージェンシー 東京」は2023年6月30日に外部譲渡。

※2 「はつはな」は2022年1月4日から工事のため休業、9月11日にリニューアルオープン。

単位：百万円	2022年度	2023年度	増減	4月時点見込	増減
営業収益	395,159	409,500	+14,340 (+3.6%)	400,000	+9,500 (+2.4%)
運輸業	151,704	170,300	+18,595	165,000	+5,300
流通業	96,156	87,200	△8,956	89,100	△1,900
不動産業	84,034	81,300	△2,734	80,800	+500
その他の事業	90,716	97,700	+6,983	93,000	+4,700
調整額	△27,451	△27,000	+451	△27,900	+900
営業利益	26,601	45,000	+18,398 (+69.2%)	35,000	+10,000 (+28.6%)
運輸業	8,463	23,000	+14,536	16,100	+6,900
流通業	866	2,100	+1,233	2,400	△300
不動産業	18,047	15,500	△2,547	14,900	+600
その他の事業	△821	4,400	+5,221	1,600	+2,800
調整額	46	0	△46	0	-
経常利益	25,119	44,000	+18,880 (+75.2%)	32,700	+11,300 (+34.6%)
親会社株主に帰属する当期純利益	40,736	71,000	+30,263 (+74.3%)	62,800	+8,200 (+13.1%)
設備投資額	52,889	77,100	+24,210	77,100	-
減価償却費	47,866	46,300	△1,566	46,300	-
有利子負債残高	706,479	627,300	△79,179	627,300	-

セグメント別業績予想 (運輸業)



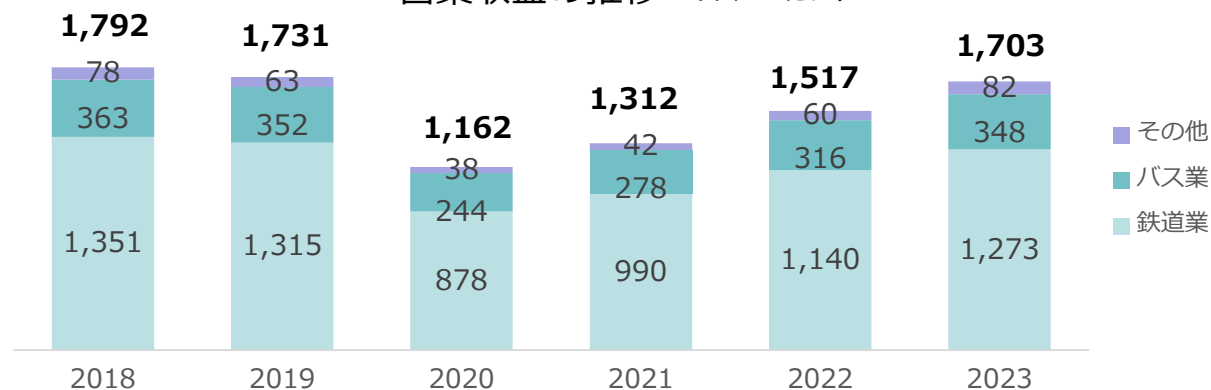
単位：百万円	2022年度	2023年度	増減・主な要因		4月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	151,704	170,300	+18,595 (+12.3%)		165,000	+5,300 (+3.2%)	
鉄道業	114,055	127,300	+13,244	(+)利用者数の回復 (+)当社バリアフリー料金制度適用	123,600	+3,700	(+)利用者数の回復
バス業	31,643	34,800	+3,156	(+)利用者数の回復 (+)運賃改定	34,100	+700	
その他	6,004	8,200	+2,195	(+)箱根観光需要回復	7,300	+900	
営業利益	8,463	23,000	+14,536 (+171.7%)		16,100	+6,900 (+42.9%)	
鉄道業	8,629	20,500	+11,870		14,100	+6,400	(+)動力費の減少
バス業	△372	900	+1,272		1,200	△300	(△)人件費の増加
その他	206	1,600	+1,393		800	+800	
設備投資額	26,280	35,400	+9,119		35,400	-	
減価償却費	31,424	30,900	△524		30,900	-	

<箱根エリアの営業収益 (対前年)>

単位：百万円	2022年度	2023年度	増減
箱根エリア*	18,377	24,083	+5,706

* 運輸業の他にホテル業も一部含まれています。

営業収益の推移 (単位：億円)



セグメント別業績予想（運輸業）



<鉄道業：小田急電鉄 運輸成績・営業費>

■ 輸送人員

単位：千人	2022年度	2023年度	増減		
			対2022年度		対2018年度
定期	381,658	398,948	+ 17,290	(+4.5%)	(△15.5%)
通勤定期	270,879	282,665	+ 11,786	(+4.4%)	(△17.4%)
通学定期	110,779	116,283	+ 5,504	(+5.0%)	(△10.3%)
定期外	266,998	284,456	+ 17,458	(+6.5%)	(△3.5%)
合計	648,656	683,404	+ 34,748	(+5.4%)	(△10.9%)

■ 運輸収入

単位：百万円	2022年度	2023年度	増減		
			対2022年度		対2018年度
定期	37,804	41,676	+ 3,871	(+10.2%)	(△12.6%)
通勤定期	32,103	35,672	+ 3,569	(+11.1%)	(△13.0%)
通学定期	5,701	6,003	+ 302	(+5.3%)	(△10.3%)
定期外	63,229	71,156	+ 7,926	(+12.5%)	(△0.9%)
旅客運輸収入計	101,034	112,832	+ 11,798	(+11.7%)	(△5.6%)
運輸雑収	3,004	2,914	△89	(△3.0%)	(△24.1%)
運輸収入合計	104,038	115,747	+ 11,708	(+11.3%)	(△6.2%)

■ 営業費

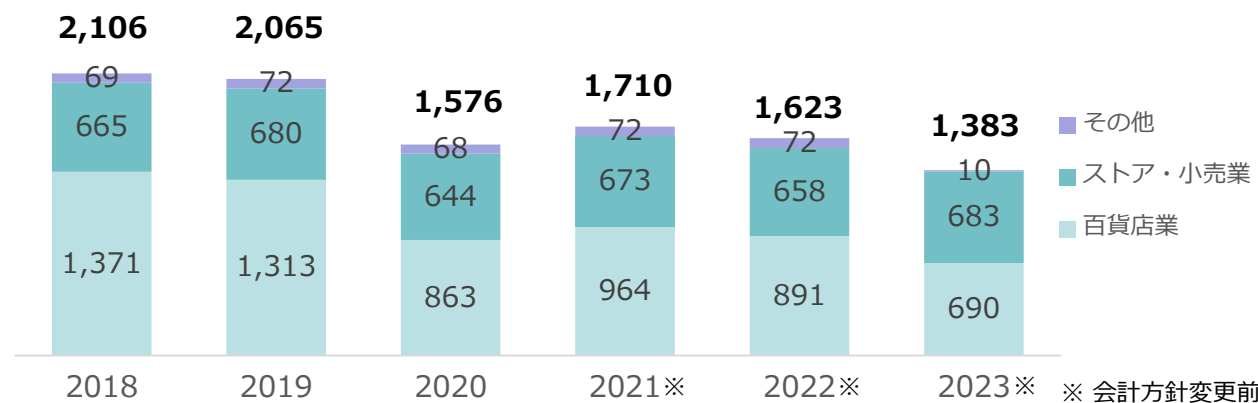
単位：百万円	2022年度	2023年度	増減
営業費合計	95,597	96,163	+ 566
人件費	26,084	26,002	△81
修繕費	6,969	7,468	+ 498
動力費	7,418	6,505	△913
固定資産除却費	1,372	1,078	△293
減価償却費	24,744	23,760	△984
その他	29,007	31,347	+ 2,340

セグメント別業績予想 (流通業)



単位：百万円	2022年度	2023年度	増減・主な要因		4月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	96,156	87,200	△8,956 (△9.3%)		89,100	△1,900 (△2.1%)	
百貨店業	29,460	24,800	△4,660	(△)新宿店売場縮小 (2022/10/3~)	26,400	△1,600	
ストア・小売業	59,408	61,400	+1,991	(+)ストア売場構成・運営の改善	61,700	△300	
その他	7,287	1,000	△6,287	(△)白鳩連結除外	1,000	-	
営業利益	866	2,100	+1,233 (+142.5%)		2,400	△300 (△12.5%)	
百貨店業	259	500	+240	(+)人件費の削減	1,000	△500	
ストア・小売業	536	1,600	+1,063		1,400	+200	
その他	70	0	△70		0	-	
設備投資額	5,623	3,100	△2,523		3,100	-	
減価償却費	2,600	2,700	+99		2,700	-	

営業収益の推移 (単位：億円)



セグメント別業績予想（不動産業）



単位：百万円	2022年度	2023年度	増減・主な要因	4月時点見込	増減・主な要因
営業収益	84,034	81,300	△2,734 (△3.3%)	80,800	+500 (+0.6%)
不動産分譲業	38,913	38,200	△713	38,500	△300
不動産賃貸業	45,121	43,100	△2,021 (△)小田急第一生命ビル持分売却	42,300	+800
営業利益	18,047	15,500	△2,547 (△14.1%)	14,900	+600 (+4.0%)
不動産分譲業	3,337	3,200	△137	3,100	+100
不動産賃貸業	14,710	12,300	△2,410	11,800	+500
設備投資額	16,670	35,800	+19,129	35,800	-
減価償却費	10,131	9,600	△531	9,600	-

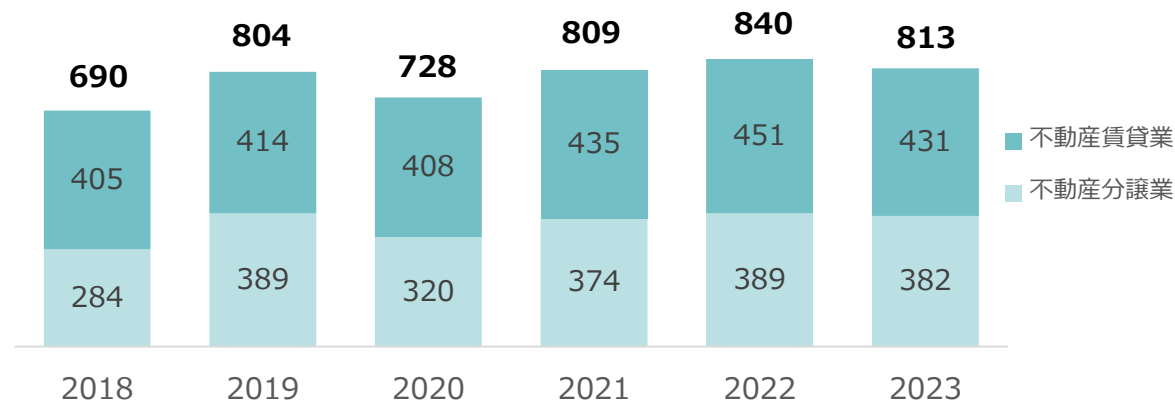
<不動産分譲業：小田急不動産 計上予定戸数>

単位：戸・区画	2022年度	2023年度	増減
戸建	79	34	△45
マンション	111	215	+104
土地	28	15	△13
合計	218	264	+46

<不動産分譲業：小田急不動産 投資用不動産の売却予定件数>

単位：件	2022年度	2023年度	増減
投資用不動産	5	4	△1

営業収益の推移（単位：億円）

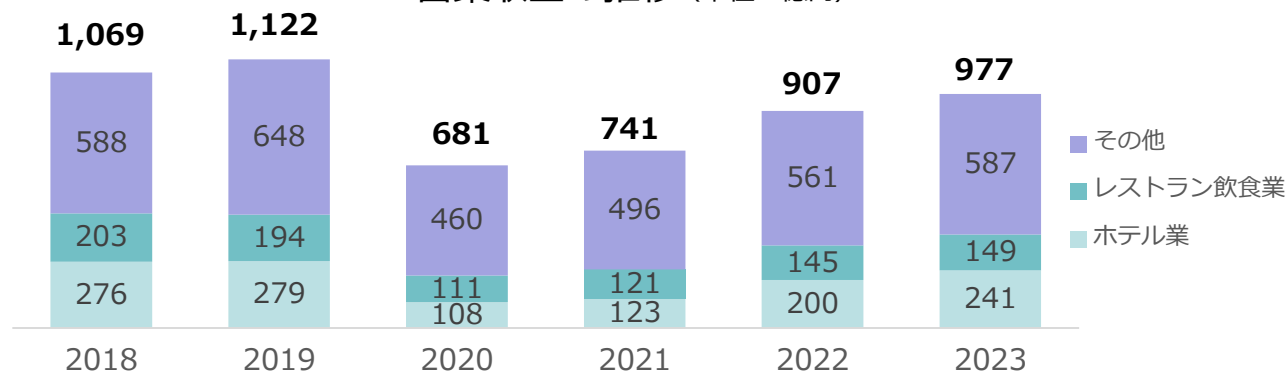


セグメント別業績予想（その他の事業）



単位：百万円	2022年度	2023年度	増減・主な要因		4月時点見込	増減・主な要因	
営業収益	90,716	97,700	+6,983 (+7.7%)		93,000	+4,700 (+5.1%)	
ホテル業	20,016	24,100	+4,083	(+)稼働回復 (△)ホテル小田急連結除外	19,800	+4,300	(+)稼働回復
レストラン飲食業	14,501	14,900	+398		14,300	+600	
その他	56,197	58,700	+2,502	(+)リゾート人材派遣需要回復	58,900	△200	
営業利益	△821	4,400	+5,221 (-)		1,600	+2,800 (+175.0%)	
ホテル業	△3,255	2,200	+5,455	(+)稼働回復 (+)ホテル小田急連結除外	0	+2,200	
レストラン飲食業	△37	100	+137		0	+100	
その他	2,470	2,100	△370		1,600	+500	
設備投資額	4,315	2,800	△1,515		2,800	-	
減価償却費	3,774	3,100	△674		3,100	-	

営業収益の推移（単位：億円）



■ご案内

この決算説明資料の他に、決算に関する資料として下記資料を当社HPの「決算関連資料」 (<https://www.odakyu.jp/ir/financial/>) に掲載しています。

- ・ 決算短信
- ・ 決算説明資料（解説付）
- ・ 決算に関するFAQ

■注意事項

スライドに記載されている計画、見通し、戦略のうち、歴史的事実でないものは、将来の見通しであり、これらは開示時点で入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。

したがって、実際の業績は経済情勢等の変化によって業績見通しとは異なる可能性があります。

小田急電鉄株式会社